

ました。 に関する所信の一端を表明し 田実市長が、今後の市政運営 先の市長選挙で初当選した黒 3回議会定例会が開会され、 9月30日 (火)、平成26年第

おりです

担当(189 200

執行に当たらせていた 今後4年間、交野古 です。 締まる思いをしているところ さんの暮らしを預かる市長と ととなりました。 いう職責の重さに、身の引き

ります。 野のまちづくりを進めてまい ち得る限りの力を傾注し、交に引き継いでいくために、持 をさらに発展させ、次の世代 豊かな歴史・文化を大切にし てきた素晴らしい交野のまち ながら、先人たちが築き上げ このまちの恵まれた自然と

問い合わせ

市民のみな 市の市政

高める・このまちを発展させ 育て」「健康」「環境」「雇用」と る、方向性として、「教育」「子 そして、、このまちの魅力を

所信表明の要旨は、次のと 行政経営室企画

た。 いう、

から実践し、学力向上の成果 でいくといった基本的なこと に付け、学習活動に取り組ん しっかりとした生活習慣を身 できるものではありません。 上は、決して学校のみで達成 子どもたちは、社会の大き また、児童・ 生徒の学力向

環境を整える必要がありま 実現できるように少人数学級 の拡大を検討するなど、教育 上には、きめ細やかな指導が 子どもたちの確かな学力向

もたちを育み、温かく見守っな財産です。社会全体で子ど ていくためには、地域で何が に結び付けてまいります

まちづくりビジョン 育 康 環 境 $\stackrel{\wedge}{\boxtimes}$ 用 $\stackrel{\wedge}{\approx}$

りを進めていく考えです

支援に取り組んでいくととも

に、地域に開かれた学校づ

要です。地域ぐるみでの教育できるのかという考え方が重

5つの重点を掲げま

には、医療費助成などの負担して住めるまちを目ざすため子育て世代にとって、安心

子育て世代にとって、

軽減だけではなく、子どもを

度」が施行されます。

新制度は、幼児期の学校教

は「子ども・子育て支援新制 せん。その中で、27年度から 検討していかなければなりま 的な子育て支援の取り組みを 育てながら働けるなど、総合

育や保育、

地域の子育て支援

の量の拡充や質の向上を進め

ていく制度となります。今後

は官民一体となって、新制度

に取り組んでいきます。 に向けて子育て支援策の充実

ところですが、いつまでも健理は、個々の取り組みに負う 日々の健康づく 健康管

康でいるということは、誰し も、市民一人ひ

雇

用

方向性を掲げ、みなさんの健

ができるよう、まちづくりの が、年代を問わず健康づくり 果が出るものではありません す。健康づくりは、すぐに結 域活動に取り組まれていま

> 現や持続可能な社会づくり 証しながら、低炭素社会の実 政として何ができるのかを検 いった問題点があるのか、行 までさまざまあり、今後どう 定の資金が想定されるもの

> > どを行う仕組みが、必要であ は、行政として一定の支援な を図ろうとする取り組みに

ると考えています。

日頃からスポー

ツや文化、地

多くの市民のみなさんは、

もが願うことです。

康づくりのお手伝いをしてま

ります

環

魅力につながります。 があるということは、まちの身近なところで働ける場所

安心の確保です。子どもを守

たすべきことは、市民の安全・

基礎自治体として、まず果

題

状況でありますが、 費用が必要です。厳し 模なまちづくりには、多額な されています。こうした大規 大規模商業施設の誘致が検討 現在、星田北地域にお い財政 いて

です

る「災害対策」は、喫緊の課題 る「防犯対策」、市民の命を守

だいて

いますが、

さらにきめ

の見守り活動を展開

してい

これまでも、地域で子ども

ら、将来の交野の姿にもつながることかはし、雇用の創出 術的・ 行い、交野に仕事と を見据え積極的な技 にチャレンジしてい 財政的支援を

基本計画」では、自然環境・

24年3月に策定した「環境

エコ生活・エネルギ

・まち

考えております。

いでいかなければならないとこれからもしっかりと引き継

自然環境保全の取り組みは、

豊かな自然が残されていま

この交野の地には、

非常に

。これまで積み上げてきた

産業振興策は、市内 きます。 雇用を生み出すこと また、これからの

クトには、環境負荷の小さ

しかし、各分野のプロジェ

り組みを進めております。 さんと課題を共有しながら取 づくりの分野で、市民のみな

中小企業者や経済団

身近な課題から、自然エネ 自転車の利用を促すといった

市長戦略パブリックコメント

市は、これからの4年間の取り組みを、市長の戦 略としてまとめる作業をしています。この戦略(案) を公表し、市民のみなさんからの意見を募集します。 案件名 市長の戦略(案)

閲覧場所 市ホームページ、市役所本館2階 行政 経営室企画担当、情報公開コーナー

募集期間 11月1日(土) ~30日(日) 意見を提出できる人

▷市内に住所を有する人

▶市内に事業所(事務所)を有する人

▶市内にある事業所(事務所)に勤務する人

▶市内にある学校に在学する人 ▷市税の納税義務がある人

▷その他、この案件に利害関係がある人

意見の提出方法 意見書に住所・名前を記入し、持 参・郵送・ファクス・eメールで行政経営室企画 担当(〒576 - 8501 〈住所記入不要〉、FAX 891· 5046. e-mail:kikaku@city.katano.osaka.jp)

問い合わせ 行政経営室企画担当(TEL 892・0121)

きます。 犯カメラの設置を拡充して えており、通学路における防 細かい安全確保策が必要と考

体などの自助努力を基本とし

ながら、研究・検討し事業化

じてまいります を行うなどのソフト対策を組 み合わせ、総合的な対策を講 と、自主的防災組織への支援 最小にするためのハード も発生しており、その影響を 中的な降雨や長雨による被害

地域資源と特性があります

また、短時間に発生する集 -整備

この交野には、素晴らし

ます のまちにも負けることのない 踏み出すことができれば、他 動されている市民のみなさ とりが地域の財産です。交野 の地を愛し、誇りを持って活 そして何より い」まちになると確信してい んとともに、さらなる一歩を 「住み続けたい」「住んでみた

私はみなさん ります。ご理

解とご協力をお願い申 営に臨んでまい の先頭に立ち、交野の市政運 今後4年間、

26.11.01 (2) (3)26.11.01